

廣福寺だより

27 号



廣福寺本堂庫裏再建工事竣工

門信徒の皆様の総力を挙げて昨年六月から進めて参りました、広福寺本堂庫裏再建工事がついに竣工いたしました、今年四月七日の上棟式を経て、七月七日に世話方、総代さんにお立ち会いいただき、株式会社本間組からの引き渡しを受けました。皆様方のご懸念誠にありがたく、心から御礼を申し上げます。

工事中の昨年十月十七日には先代住職釈恵信が還浄いたしました。解体前の庫裏と、工事中の本堂を式場にさせていただいて葬儀を営んだ時のことを思い起こしながら、新しい本堂の前に立つと、寺の歴史というものに深い感慨を覚えます。「二目、住職に見せたかったね」と、よくお声をかけていただき、また残された寺族にいたわりと励ましの言葉を頂いております。誠にありがとうございます。皆様方の総仏壇としての本堂、念仏の道場として、広く門信徒、地域の皆様にかれた寺をめざして努力を重ねる所存でございます。

今後の日程は、境内一部の造園作業、新しい門柱の設置作業を行い、新調された巻障子と旧本堂から取り外して保管しておりました内陣の須弥壇（しゅみだん）宮殿（くうでん）の取付作業を行った上で、七月二十日に「御本尊の仮御入仏」をさせていただき、八月一日・七日の「盆参法要」から正式に行事を再開させていただきます。そしていよいよ九月三日に「本堂庫裏落慶法要」を勤めます。

本堂庫裏起工から竣工まで

◎先代住職の導師で起工式

平成十一年六月二十三日、先代住職釈恵信の導師により世話方、総代、設計士、本間組の皆様にご参加いただき、起工式を行いました。旧本堂での最後のお勤めとなりました。先代住職はこの日は式後の庫裏でのささやかな祝賀会にも参加いたしました。御本尊は、書院へお移しました。

この後、七月中旬から本堂を解体し、四十度に近い八月の記録的な猛暑の中で、八子建設さんが基礎工事を行いました。

九月初旬には鉄骨の骨組みができましたが、このころから住職の病状がすぐれなくなり、十月十七日朝、県立吉田病院にて還淨いたしました。



ました。解体工事前の庫裏を勤行の場に、本堂ALC板の床面にテントを張って式場とさせていただき、葬儀を営みました。法中のご寺院方、世話方総代さんには大変なご苦労をいただきました。また本間組さんにも会場設営で親身になって助けていただきました。

◎真冬からの本堂庫裏工事

本堂の屋根工事は十一月下旬から始まり、風雪の中、見上げるだけで怖くなるような高さでの工事でした。下地工事から銅板による本瓦葺きの工事へと進みました。庫裏は一月下旬に解体し、寒さの中での基礎工事から始まりました。

本堂木工事は山北町の寺社建築の経験をお



持ちの本間工務店、庫裏木工事は岩室村の有坂工務店に担当していただき、銅板の屋根の調和するすばらしい本堂、庫裏となりました。内部の床面は段差なしになっております。

本堂庫裏渡り廊下の東側には図書室「広大文庫」を作っていただきました。寺の行事のときには、受付所としても利用します。

◎晴天の下で「上棟式」

今年四月九日、暖かい春の日に上棟式を営みました。厳粛な式の後には、世話方総代さんからご寄付をいただき、麓二区生産組合自慢のおいしいおモチがたくさんまかれました。門信徒、地域のみなさん二百人ほどの大勢の方から集まっていたいただき大盛況でした。ずいぶん遠くからも、おいでいただきました。

◎「広大文庫」「受付所」

本堂庫裏渡り廊下の東側には図書室「広大文庫」を作っていただきました。仏教書、児童書、小説などがあります。広く地域に解放させていただきます。子どもも大人もいつでもご利用下さい。また、皆様のお宅で必要がなくなった児童書などがありましたら、ご寄進いただければ幸いです。

この部屋は行事の時には、来寺下さる方の「受付所」として利用されます。受付所専用の入り口があります。

今後の行事

八月一日(水)・七日(火)の「盆参法要」から、正式に行事をお勤めします。両日とも十時からで、おときづきです。ぜひお参り下さい。他の行事を含め、別紙チラシをご参照下さい。

九月三日(日)が、いよいよ本堂庫裏の竣工をお祝いする「落慶法要」です。稚児行列を含む、庭儀式(お練り)をおこないます。新潟教区三、四組のご寺院方に、雅楽の楽人(がくにん)も加わる盛大なものになります。幼児から小中学生まで、別紙チラシをご参照の上お申し込み下さい。昭和五十八年の「ご遠忌」のときは、七十五名の参加でした。

落慶法要記念品として、法要への参加不参加に関わらず、ご門徒の皆様には、本山佛光

～御懇志募財状況(予定額)～

平成12年7月現在

(単位千円)

地 区	戸 数	御 懇 志
麓 2 区 下	20	13,400
麓 2 区 下	16	11,800
麓 2 区 上	18	11,660
麓 2 区 上	19	11,920
麓 1 区 下	15	10,350
麓 1 区 上	14	10,850
観 音 寺	7	3,540
村山・仁助	8	5,900
境 江	5	3,500
弥 彦	15	7,480
走 出	8	4,900
山岸・山崎	8	5,400
矢 作	4	3,000
辰 ノ 口	10	5,700
長 崎	7	4,350
幕島・京ヶ入	11	8,100
上泉/金池/樋曾	5	3,400
本町・和納	4	3,150
吉 田	17	9,700
燕・花見	8	30,900
他、県内	22	13,410
県 外	17	9,050
寺 族		32,600
心光寺様		1,000
門徒以外		3,620
合 計	258	228,680

寺発行の経本『常用聖典』と「門徒式章」をお配りいたします。落慶法要を含めて寺の行事、ご法事などにはぜひご着用下さい。ご門徒以外の桜井郷地域の方々からも、懇志を頂戴いたしました。誠にありがとうございます。いましました。ぜひこれからもご参拝下さい。御礼として「数珠」を配らせていただきます。



御懇志募財状況

御門徒の皆様は昨年来、お願いをしております御懇志の募財状況(予定額)は、現在左の表のとおりです。不況の折、皆様方には大変なご苦勞をおかけしておりますが、ご懇念のほど、誠にありがとうございます。地域の方々、ご縁のある方々からの御懇志も頂戴いたしております。心より御礼を申し上げます。

総費用に關しましてご心配をいただいておりますが、本堂お内陣の莊嚴(おかざり)、境内造園工事等の付帯工事、落慶法要が残っておりますので、決算額につきましては、あらためてご報告申し上げます。

平成11年度当寺勸金決算書

〈収入の部〉

科 目	決 算 額
勸 金	2,012,000
雑 収 入	41,776
繰 越 金	45,198
計	2,098,974

〈支出の部〉

科 目	金 額	
1.寺務経常費	2,060,295	
(1)負担金	811,160	本山護持金・光寿堂管理費 教区費・ともしび代 本山御仏供米料
(2)事務通信費	269,908	コピー機リース・用紙等 封筒作製・通信
(3)会議費	285,564	門徒総会・世話方・総代会議
(4)教化費	241,250	御布教・たより・お知らせ 聖典購入・聞法会・広大会 世話方研修会・カレンダー
(5)営繕管理費	179,213	火災共済・浄化槽・灯油 ガラス修理代・冬囲い取り
(6)門徒交際費	61,000	御本尊下付・お見舞
2.事業費	0	
計	2,060,295	

平成12年度当寺勸金予算書

〈収入の部〉

科 目	予 算 額
勸 金	2,200,000
雑 収 入	20,000
繰 越 金	38,679
計	2,258,679

〈支出の部〉

科 目	予 算 額
寺務経常費	2,200,000
事業費	0
予備費	58,679
計	2,258,679

定例世話方・総代会議が去る一月十七日開かれ、左の表の通り、平成十一年度決算書、平成十二年度予算書が承認されましたのでお知らせいたします。工事関係の事務通信費、門徒総会開催による会議費が例年より増えました。本堂・庫裏工事関係については、特別会計として別に報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

世話方・総代会議報告

八千円の勸金

本年も、一戸あたり八千円の勸金と決定されました。八月中をめどに納入して頂きますようお願いいたします。「墓地管理費」を同時に納入いただける方はよろしくお願いいたします。

ひとしの年忌当たり年

1周忌	平成11年没
3回忌	平成10年没
7回忌	平成6年没
13回忌	昭和63年没
17回忌	昭和59年没
23回忌	昭和53年没
27回忌	昭和49年没
33回忌	昭和43年没
37回忌	昭和39年没
50回忌	昭和26年没
100回忌	明治34年没
150回忌	嘉永4年没
200回忌	寛政13、享和元年没

女性講は行事が重なる関係で昨年、本年とお休みさせていただきますが、来年度への積み立てのため納入をお願いいたします。